

Face to Face

[フェイストゥ フェイス]
笑顔でつなぐコミュニケーション

Vol. 169
TAKE FREE

発行
星野新聞堂
www.shinbundo.com

2021
1月号
January

Face to Face Talk

富士のフューチャー

茶香房 山田製茶

茶師 **山田 典彦**
Norihiko Yamada



雄大な富士山を背に、見渡す限り広がる新緑の茶畑。まさに日本を象徴する美しい景色の中で生活している我々は、ともすればこの環境を当たり前のものとして捉えがちだが、茶畑もお茶も自然に生まれるものではない。お茶を作る人、お茶を飲む人がいなければ、世代を超えてこの景観を維持することはできないのだ。山田典彦^{やまだ のりひこ}さんは茶農家の2代目として生まれ育ち、20年以上のキャリアを誇るお茶作りのプロでありながら、その発想力はどこまでもしなやかで、既成概念に収まらない。山田さんの名前は知らなくても、自ら扮したPRキャラクター「茶^{ちや}ら男^お」と聞けば、イベント会場でひととき注目を集めるその姿が記憶にあるという人もいるだろう。地場産業という硬直しがちな分野に身を置きながらも、つねに新たな風を吹き込み、誰もが楽しめるお茶の世界を伝える山田さんの姿勢は、チャラさとは無縁のひたむきさに満ちている。

「富士のフューチャー」 山田 典彦

山田さんは生産者の枠を超えて、お茶文化の普及のためのボランティア活動を行なっているそうですね。

「富士市内の若手茶農家が集まって、『お茶屋戦隊茶レンジャー』として7年前から活動しています。ふざけた名前ですが、JA内の正式な部会名なんです(笑)。現在のメンバーは7名で、小学校を訪問してお茶の淹れ方や美味しさを伝えています。今年度は富士市内27校のうち15校から活動依頼をいただきました。僕たちの一番の思いは、急須でお茶を飲む人を少しでも増やしたいということです。そのためには子どもたちにお茶の魅力を知ってもらって、時間をかけて文化を育てていくしかありません。昔はお茶の消費量も多くて、農家はただ一生懸命作ってればよかったんですが、今はもうそういう時代ではありません。日本人のお茶離れが進んで、大手メーカーが量産するペットボトルのお茶も安く買える中で、茶農家が自らアピールしなければ未来はないと思っています。でも相手は小学生ですから、楽しくなければ関心を持ってくれません。僕たちの授業では、あえて最初は正しい淹れ方を教えないんです。まずは子どもたちに任せて好きにやってみよう、いきなり熱湯を入れてみたり、茶葉を直接湯呑みに入れてみたり(笑)。その後で、旨味と甘みが最大限に引き出される60℃のお湯で煎茶を淹れて飲んでもらうと、『わあ、全然違う!美味しい!』となるわけです。そもそも家庭でもお茶を飲んだことがないという子も増えている中で、こうした感動や発見を通じてお茶と向き合ってもらえる機会が大事だと思います。茶葉を持って帰って、家族にも美味しいお茶を飲ませてあげようという宿題を出すんですが、後日親御さんから『子どもに淹れてもらったお茶がすごく美味しくてびっくりしました』という嬉しいお手紙をいただいたこともあります。」

「茶レンジャー」の新たな活動として、富士市のほうじ茶ブランド化事業も進んでいるそうですね。

「茶レンジャーのうち4名の農家と富士市のJA、行政、経済団体などが協力して、今年度から本格的に始まった事業です。これまでに会議や試作を何度も繰り返して、茶葉の品種や製造方法はほぼ固まった

ところ。今後は具体的に商品化する予定で、ゆくゆくは地元の飲食店にも協力をお願いして、ブランド化したほうじ茶を展開していきます。富士市では以前から、茶業を盛り上げるためのPRイベントが行われてきましたが、今回の事業は生産者が直接加工やブランド化に関わるという点で、前例のないプロジェクトです。茶葉を焙煎して作るほうじ茶には独特の色味と香ばしさがあります。最近ではほうじ茶入りスイーツなどもたくさん登場していて、消費量はここ10年間で3倍にまで増えています。お湯の温度によって風味が大きく左右される煎茶と比べて、熱湯を注ぐだけで誰でも簡単に美味しく飲めること、あっさりとした口当たりで食事の味を邪魔せず、普段使いがしやすいのも特徴です。ほうじ茶は茶葉の中で品質の劣るものを使った安いお茶、というイメージがあるかもしれませんが、僕たちはあえて一番茶を使います。高品質で美味しいほうじ茶を作りますので、ぜひ期待してください。」

茶農家さんが商品開発や販売にそこまで深く関わっているとは驚きです。

「富士市の茶農家の特徴として、自前の製茶工場を持っていて、茶葉の生産・加工・販売までを一貫して行なう『自園自製自販』と呼ばれる業態が多いという背景もあります。これは茶農家それぞれのこだわりや独自性が出しやすい環境ともいえます。僕自身も22歳から本格的に家業に携わってきましたが、若い頃から製茶作業を任せられ、並行してイベントでの出店販売も積極的に行なってきました。もともと人

付き合いが好きで、対面販売でお客様の反応や要望を肌で感じることができるのも貴重な機会です。なぜ売れたのか、なぜ売れなかったのか、その都度理由を考えて、改善して、また疑問が生まれてと、研究するのが好きなんです。自らをキャラクター化した『茶ら男』というスタイルで販売する戦略も、試行錯誤の中で生まれたアイデアでした。イベント会場でお客さんを集めているケーキやパンの有名店を見ると、目を引く衣装や統一された雰囲気があるんですね。それで8年ほど前に、当時の富士市産業支援センター『f-Biz』に相談してみたいです。自分自身をキャラクターとして演出してみようということは決めていて、名前はダジャレで『茶ら男』でいこうと(笑)。そこから衣装を決めて、メディア向けに情報発信をして、多くの方のサポートをいただきながら戦略を練っていきました。茶ら男としてのデビューは東京の巣鴨での街頭販売だったんですが、静岡のテレビ局が東京まで取材に来てくださって、その様子が放送された直後に来店したイベント会場では一日中お客さんの大行列ができました。私服で販売していたら絶対にこうはなりませんし、それ以降は『茶ら男に会いに来たよ』と言ってくださる常連のお客さんも増えました。周りからは『よくそんな格好するよね』なんて言われることもありますが、自分が広告塔になるだけで宣伝費はかからないんですから、僕に言わせれば、これで知ってもらえるなら、買ってもらえるなら、やらない手はないでしょうという話です。もちろんその前提として、生産者としてお茶の品質にこだわっているのは言うまでもありません。消費者の安心安全に配慮した減農薬栽培や、味や香りが引き立つ遠赤外線による火入れなど、細かなところまで



「茶レンジャー」の一員として小学校でお茶の授業



イベント出店時は「茶ら男」による対面販売



茶香房 山田製茶 茶師

山田 典彦

1977(昭和52)年5月26日生まれ(43歳)

富士市出身・在住

やまだ・のりひこ / 須津小、須津中、吉原商業高校(現・富士市立高校)、農業者大学校を卒業後、家業であるお茶の生産・加工・販売に従事。2012年、自らをPRキャラクターとして演出した『茶ら男』によるブランド展開でメディアの注目を浴び、以来出店するイベント会場では長蛇の列ができるほどの盛況となる。2013年に地元若手茶農家で結成した『お茶屋戦隊茶レンジャー』では、お茶文化の普及を目的として富士市内の小学校を訪問するボランティア活動を毎年継続している。2020年、富士市農政課や富士商工会議所などと連携した『ほうじ茶ブランド化事業』にも参加。来年度からの本格販売を目指して富士市のお茶を全国や世界へ向けてアピールすべく尽力している。

お茶はシーン(場面)で飲むもの



挙げれば数えきれない手間をかけていますし、こうした工夫や改善に終わりはないと思っています。その上で、どうすれば多くの人にお茶を飲んでもらえるか、商品の価値が伝わるのかを考えていく力が、今の世の中には求められているんだと思います。」

固定化されたお茶のイメージを変えていこうという戦略なんですね。

「お茶屋でお茶を買うこと自体、どうしても敷居が高く見られがちなんですよ。ですから店舗でもイベント会場でも、もっと気軽に、誰もが訪れることができる雰囲気にしていかないと。そのためには、お茶以外の商品も積極的に売っていくべきですし、むしろお茶は二番手の商品でもいいとすら思っているんです。実際にここ数年、イベント会場では焼き団子やかき氷も販売しています。団子に添えるあんこやかき氷のシロップは自分で開発したオリジナル品で、自社のほうじ茶、紅茶、抹茶などを使っています。また異業種との提携も進めていて、富士市内のクレープ屋、お菓子屋、そば屋などにもお茶を卸しています。ビジネスとしてお互いにメリットがありますし、自分が知らない業界の人と協力していく過程で新しいアイデアが生まれることもあります。ただその一方で、『お茶は無料で飲めるもの』というイメージも固定化されていますよね。飲食店でもサービスエリアでも、コーヒーは有料なのに、お茶は無料です。飲料水にはお金を払うのに、それ以上に手間が加わったお茶はタダっていうのは変じゃないですか？(笑)そういう意味でも、僕はお茶を『シーン』で売ること

が重要だと思っています。つまり、その時々場面や飲む人の感情に寄り添う形で具体的に提案していくんです。癒やされたい時はカフェインが少なくして血管拡張効果のあるほうじ茶でリラックスしましょうとか、キャンプでは茶殻の出ない粉末のお茶が便利ですよ、とか。今の時代、『お茶はいかがですか?』だけではダメで、多少遠回りしてでも、丁寧にシーンを伝えていくことで納得して買ってもらえると思うんです。また、今はコロナ禍で家にいる時間が増えた分、お茶を飲むシーンの価値は高まっているはずです。家族団らん、ストレスの緩和、免疫力の向上など、具体的な効果も期待できますし、お茶を飲むという行為を通じて、生活の中にちょっとしたゆとりや潤いが生まれます。週に1回でも2回でもいいので、急須のお茶を家族で囲む時間を持ってもらえると嬉しいですね。」

アイデアマンの山田さんですから、今後のご活躍も楽しみですね。

「これからも愚直にいいお茶を作り続けたいという気持ちはありますが、そのことだけに囚われるつもりもありません。今ある環境をいろんな角度から捉えることで、新しい可能性も見えてくると思うんです。たとえば、店舗の横にある実家は築72年の日本家屋なんですが、日本の原風景ともいえるような農家の佇まいが残っています。このスペースを古民家カフェのような形で提供できれば、山田製茶のお茶を商品としてだけでなく、一つの文化体験として味わってもらえるかもしれません。また、製茶工場の

清掃やメンテナンスには人一倍気を配っていて、設備や製茶作業の見学も随時受け入れています。コロナ禍もまだまだ先は読めませんし、しばらくは公的な大規模イベントの開催は難しいでしょうから、自分でイベントを企画・開催してみようかと考えているところです。駿河湾がきれいに見える茶畑の一角にアーモンドの木を植えて、春はお花見、秋は収穫祭をメインにしたアウトドア体験会とか、ペットと楽しめるドッグランを作るとか、使われないまま茶畑に立っている霜除け用の送風機で特大のブランコを作るとか。アイデアはたくさんありますし、多くの人を楽しめる場を提供できれば、お茶の販売機会だけでなく、この地域全体の魅力が増していくはずですよ。いろんな制約があるのは承知の上ですが、その壁をひとつひとつ乗り越えていくことにもやりがいを感じます。人生は一度きりですから、今後も積極的にチャレンジしたい。自分が作ったものをしっかりと世に届けるために、こだわるところはこだわる、曲げるところは曲げる。そしていろんな人となつながら、楽しいシーンを作り出していきたいですね。」



Title & Creative Direction/Daisuke Hoshino
Text & Photography/Kohei Handa

茶香房 山田製茶

店舗：富士市中里129
TEL：0545-34-1612



<https://yamada-tea.shop-pro.jp>

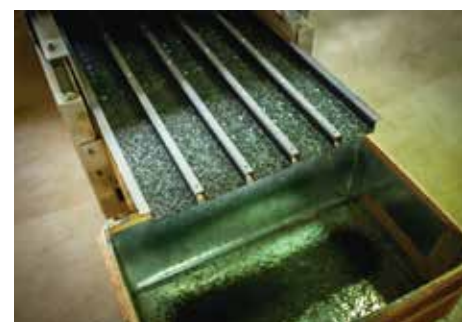
「茶ら男」とコラボしたい企業やお店を募集中です。詳しくは山田製茶までお気軽にお問い合わせください。



山田製茶の店舗



清掃の行き届いた製茶工場



遠赤外線による火入れの工程

Event さんまい!

富士・富士宮周辺イベントスケジュール

参加にあたってはマスクを必ず持参し、
「手洗い徹底」「体温チェック」「体調不良時の欠席」
など感染防止対策を忘れずに!!
また直前中止や場所・内容変更の場合もあります。

MamaSquare2020 WOMANDAY

12/9(水) 1/22(金) 2/9(火) **一部要申込**

仕事や勉強、趣味の手仕事などを子連れで安心してできるママの居場所。自分の軸探しから就職準備などの「個別相談」、「スキルアップ講座」、「はにかむCafe」など。子ども見守りスタッフもいてママの自分時間が安心して過ごせます。各内容の時間帯等はWebで→www.haharyoku.com/

時 | 10:00~14:00
所 | さあどぶれいす SAN(富士宮市野中1136-5)
対 | 乳幼児の母(子連れOK)
問 | 0544-78-0741 (NPO法人母力向上委員会)
mail@haharyoku.com

手織り体験—卓上機で裂織りを体験—

12/11, 18 1/15, 22, 29 2/5, 12, 19 3/5, 12, 19

要申込 不要になった服などからランチョンマットや敷物などを作る体験講座です。シャツや浴衣など思い出の布を再生しませんか?場所は富士市新環境クリーンセンター・循環啓発棟内の修理再生施設「ふじさんエコトピア」。見学だけでもOK。

時 | 各日 10:00~15:00
所 | ふじさんエコトピア(富士市大淵676)
料 | 1,000円
持 | 裂くための古い布・ハサミ・30cm定規(メジャー等)
問 | 0545-30-6166(ふじさんエコトピア)
fujishi.kankyoo@cleankobo.co.jp

人生100年時代!脱筋力ウォーキング教室

12/13(日)

筋力、持久力は必要無し!疲れず、痛めず、頑張らず、年齢、運動センスも問わない、どなたでも気軽に取り組める楽々ウォーキング術です。ダイエット効果も大。無料、当日参加OK。

時 | 9:00~11:00 雨天中止
所 | 富士市中央公園 花時計前
問 | 0545-51-7839(健風館施術院 大内)
kenpukan@cy.tnc.ne.jp

色鉛筆体験教室

12/14(月) **要申込**

初心者の方歓迎。年齢問わずお楽しみいただけます。

時 | 13:00~14:30
所 | ロゼテラス(富士市ロゼシアター2階)
料 | 1,500円 問 | 090-1781-0068(かわべ)

お街でやさしいノルディック教室

12/16, 23, 30 1/6, 13, 20(毎週水曜)(前日まで受付)

要申込 中央公園を起点に街中を周遊します。屋外ならではの開放感を楽しみながら全身運動できるのがノルディックウォークの魅力。日常生活にポールウォーキングをぜひ取り入れてみてください。

時 | 13:30~14:30 雨天中止
所 | タリーズコーヒー富士中央公園店前ウッドデッキ集合
料 | 1,000円(初回体験無料)
持 | 歩ける服装・リュック(手が空くよう)・運動靴
※レンタルポール500円(事前に申し出ください)
問 | 080-5126-9363(佐野ふみこ)

MamaSquare2020 PLAYDAY

12/16(水) 1/12(火), 29(金) 2/17(水), 26(金) 3/4(木)

一部要申込 赤ちゃんとママがゆったり過ごせる、ママのための複合イベント。木のおもちゃで遊べる「親子の遊び場」、どんな理由でも「預かり託児」、どんな些細な悩みもOK「妊娠育児相談」、気になるテーマを子連れでおしゃべり「UmidasCafe」、産前産後の体をケア「ケアサロン」、一息つける「はにかむCafe」。各内容の時間帯等はWebで→www.haharyoku.com/

時 | 10:00~14:00
所 | さあどぶれいす SAN(富士宮市野中1136-5)
対 | 乳幼児の母(子連れOK)
問 | 0544-78-0741 (NPO法人母力向上委員会)
mail@haharyoku.com

丸火でノルディックウォーキング!

12/16(水) 1/9(土) 2/3(水)(受付締切各日前日)

要申込 丸火自然公園内をノルディックウォーキングでのんびり散歩します。ポールを使って足腰への負担少なく効率よい運動です。詳細はWebで→https://www.fuji-marubi.jp

時 | 9:30~12:00 雨天中止
所 | 富士市立少年自然の家・丸火自然公園内
料 | 500円
対 | 5km程度歩行可能な方・身長140cm以上
持 | 運動しやすい服装・ポール・タオル・水筒・防寒着
リュック等(ポール貸出あり/別途500円)
問 | 0545-35-1697(富士市立少年自然の家)
info@fuji-marubi.jp

お正月アレンジ教室

12/16(水)~21(月) **要申込**

プリザーブドフラワーなどを使ったお正月アレンジを作ります。手づくりのアレンジを飾って新年を迎えましょう♪各回1組、先着6名。

時 | ①10:30~11:30 ②13:30~14:30
所 | Little Bridge(富士市伝法573-2)
料 | 3,850円(材料費込)
持 | 持ち帰り用袋
問 | 0545-67-2550(Little Bridgeリトルブリッジ)
little.bridge.chichester@gmail.com

まつのdeマルシェ2020

12/20(日)

松野地区恒例のマルシェ。お正月用品、地元の野菜、お惣菜、食事、雑貨、クラフト、フリマなど、いろいろ販売します。

時 | 9:00~13:00
所 | 富士市南松野1805-1(松野まちづくりセンター近く)
問 | 090-1752-9470(まつのdeマルシェ事務局)
matsunodemarshche@gmail.com

富士本町おかみさん会 楽々市

12/20(日)

毎月末恒例、富士本町の朝市。12月は年末のため1週早くやります。新鮮野菜や惣菜、リサイクル品、手作り小物などを販売します。お正月の準備に、ぜひお越しください。

時 | 9:30~11:30頃 雨天実施
所 | 富士駅北 そば食事処金時~ヤマダスポーツまで
問 | 0545-63-8027(香り処ギャラリー池田)

グッドライフ健康講座

12/23(水), 25(金) **要申込**

「冷え」「疲れ」「もの忘れ」「眠れない」など様々な悩みをかかえる現代人。あらゆる病気や不調の原因は「脳」と「腸」の疲れにあった!脳疲労と腸疲労を改善し、明るく前向きに生きるためのヒントをお伝えいたします。無料。

時 | 13:30~15:00
所 | 12/23富士市交流プラザ(富士市富士町20-1)
12/25駅前交流センターきらら(富士宮市中央町5-7)
問 | 054-204-3320 k-hata@bandscorp.jp
(ビーアンドエス・コーポレーション 畑)

gift vol.2 —北欧のクリスマス—

12/25(金)

選ぶ時間こそ最高の“gift”。作家さんが心を込めて作ったクラフトや北欧雑貨、飲食が多数出店。チャペルではウエディングショーも。聖夜に大切なあの人と、北欧のクリスマスを意識した空間の中で豊かな時間を過ごしませんか?

時 | 15:00~19:00
(18:30~チャペルステージ)
所 | ペアステージノイ(富士市永田町2-1-1)
問 | 090-9916-8098(小粋なイベント屋さん nicoli)
rosso616@yahoo.co.jp



岳南電車【だるま電車】運行 出発式

12/28(月)

2月の毘沙門天大祭に向けて、12/28~2月下旬までだるまにラッピングされた岳南電車が走ります!車内もだるまカラーで装飾。初日には岳南電車江尾駅で出発式を行います。ぜひ見に来てください。

時 | 13:30~14:30
所 | 富士市 岳南電車 江尾駅 構内
問 | 0545-52-0559
(富士市まちの駅 土屋医院 八木)



SASAERU まち交流フォーラム 『フードバンクを知る』

1/10(日) **要申込**

「廃棄ゴミ問題」「フードロス」「貧困家庭の支援」の3つの地域問題。解決の糸口を市民みんなで考えましょう。講演のほか、親子向けお料理教室「みんなの手料理でフードロスを減らしちゃおう♪」も同時開催。申込はメールで。無料。

時 | 10:00~12:00
所 | ふじさんエコトピア
(富士市大淵676 富士市新環境クリーンセンター内)
問 | 090-9029-4335(FujiことはじめSASAERU 赤澤)
fuji-koto@outlook.jp

青木敏男&SUGEE展

1/10(日)~25(月)

1月は、画家・アートディレクター青木敏男さんの絵画展「道の途中」と、旅する音楽家にしてサボテン愛好家SUGEEさんのインテリアプランツ展「旅で出会った植物たち」です。

時 | 10:00~17:30(会期中無休)
所 | 芸術空間あおき(富士宮市青木平243)
問 | 090-6203-6010(芸術空間あおき 屋久(やひさ))

文化庁・文化芸術収益力強化事業
「能と長唄」

1/11(月・祝) 要申込

10月の公演が大好評につき再演決定!本紙連載でおなじみ能楽師・田崎甫さんとVol.91に登場した三味線奏者・佐藤さくら子さん。若手邦楽家が織りなす古くて新しい伝統芸能の世界。定員各回20名。

時| ①13:00~14:30 ②16:00~17:30(30分前開場)
所| 臥牛敷舞台(富士宮市粟倉南町132)
料| 5,000円
問| 0545-38-9939(たのじ合同会社 田寄)

富士市産の紙バンドで作る
ここにこだるまと宝船の小物入れ

1/14(木) 要申込

毘沙門天大祭でもお馴染みの縁起のよいだるまと、宝船の小物入れを、地元富士の紙バンドで作ってみませんか?講師は紙バンド作家の渡邊ともこ先生。定員5名。持ち物不要。

時| 10:00~12:00
所| モクリエギャラリー(富士市荒田島町8-16)
料| 2,500円
問| 090-3562-1503(モクリエギャラリー 坂本)



若者応援サポーター養成講座

1/16(土)(受付締切1/10) 要申込

ニートやひきこもり・不登校など社会生活を円滑に営むことが困難な若者に、コミュニケーションのコツや人生の経験談を伝えて後押ししてくれるボランティアサポーターさん募集!定員30名、参加無料です。

時| 13:30~15:30
所| 富士市教育プラザ(富士市八代町1-1)
問| 0545-55-0562(富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」)
f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

第33回富士市国際交流フェア
(パネル展・ビデオ上映展)

1/17(日)~24(日)

今年度は感染拡大防止のため、例年のふじさんめっせから富士市交流プラザに場所を移し、各国際交流団体の活動や在住外国人の出身地の文化を紹介するパネル展とステージアトラクション等のビデオ上映展を行います。

時| <パネル展>
1/17(日)~24(日)
10:00~17:00(最終日~16:00)
<ビデオ上映展>
・1/23 13:00~17:00
・1/24 10:00~16:00
所| 富士市交流プラザ(富士市富士町20-1)
問| 0545-55-2704(富士市国際交流協会)
fj-air@div.city.fuji.shizuoka.jp

天使を想う お話会

1/22(金)(受付締切1/21) 要申込

小さな命を失ってしまった、天使ママ・パパさんのためのお話会です。哀しい気持ちや苦しい気持ち、我が子への想いを、たったひとりで抱え込まず、この場でお話ししてください。少人数制でスタッフも同じ経験者なので、ゆったりとした気持ちでお話し出来ます。定員5組。託児あり(要事前連絡)。

時| 10:00~12:00
所| 書道café omoi(富士市大淵6番地)
料| お話会のみ500円
天使のサンキャッチャー作り(ワークショップ)付き2,000円
対| 流産や死産等によりお子さんを失くされた方
問| h9h2a3m7@gmail.com(ハハコグサ 桑原)
お申込方法はWebから
https://haha-kogusa.themedia.jp/

片づけ体感レッスン

1/22(金) 要申込

自分の家の引き出しをそのまま持参して、片づけを体感します。片づけは技術。誰でもできるようになります!講師は整理収納アドバイザーの山口まみさん。

時| 10:00~12:00
所| モクリエギャラリー(富士市荒田島町8-16)
料| 2,000円(紅茶付き)
持| ご家庭の引き出しそのまま、もしくは普段使いのポーチやカバンなど中身入りで
問| 090-3562-1503(モクリエギャラリー 坂本)

男女共同参画学級 みんなで知りたいSOGI
~多様な性指向と性自認~

1/23(土)(受付締切1/9) 要申込

多様な性について当事者の方と助産師がZoomでトークを行い、皆様からの質問にもお答えします。「誰もが尊重され、自分らしく生きることのできる社会」について一緒に考えてみませんか? 無料。申し込みは電話かWebフォームから。
https://www.supersaas.jp/form/nao/SOGI

時| 15:00~16:00
所| オンライン(Zoom・顔出し不要)
問| 0545-63-1608(菜桜助産所)

まるび森の音楽会
~新春フルートコンサート~

1/24(日)(受付開始1/7) 要申込

フルートによるジャズ、クラシックやポップスなどを聴いたり、歌ったりしてみんなで楽しく過ごしましょう。演奏はフルート奏者の田内早紀さん、マリンバ奏者の田内和貴さん。詳細はWebで→https://www.fuji-marubi.jp

時| 14:00~16:00
所| 富士市立少年自然の家
料| 小学生以上1,000円 4歳以上800円
持| 水筒(温かい飲み物)
問| 0545-35-1697(富士市立少年自然の家)
info@fuji-marubi.jp

仲道郁代 大作曲家のひみつ「ショパン」

2/20(土) 要申込

静岡県出身で日本を代表するピアニスト仲道郁代さんが、演奏とトーク、映像とともに「ピアノの詩人」の生涯を巡る、オール・ショパンのコンサート。

時| 開場13:15 開演14:00
所| 沼津市民文化センター
問| 055-932-6111(沼津市民文化センター)
cul-bunka-ct@numazu-kousya.jp

イベント募集中!

次回締切 12/15(火) 17時

対象イベント期間 1/16(土)~2/21(日)

www.facetofacefuji.com
応募はFace to Face 公式WEBサイトから



ぷろぐ ~お店からの最新情報と粋な話題をお届けする紙上のブログ~

新年の団らんをフレンチとともに



特製フレンチおせち【数量限定・ご予約受付中】
白木重(6.5寸)2段 32,400円(税込) 1段前菜 18,360円(税込)
・ガトーショコラホール1台 ・フランスパン1本
がどちらの商品にもつきます

ランチコース 1,800円(平日限定)・3,000円・4,200円・6,000円(各税別)
ディナーコース 4,500円・6,000円・8,000円・10,000円(各税別)

年内は12/27(日)まで 新年は1/2(土)より営業
ウイルス対策で席数を減らしておりますので、事前のご予約をお勧めいたします。年末年始の詳細は当店ウェブサイトをご覧ください。

L'Equation cuisine française
レクアシオン
富士市津田町101-1 TEL 0545-52-2525
11:30~13:30(L.O) 17:30~21:00(L.O)
月曜・第2火曜定休 駐車場あり
レクアシオン 検索 http://www.lequation.jp/

君にぴったりの巣立ちの準備
心のこもった贈り物
ありがとうは君の元気な笑顔
入園・入学準備は
SUBAKOUBOU

SUBAKOUBOU 巣箱工房
coruri * hinatoco * Torinosu Yoga
SUBAKOUBOU
富士市浅間本町4-11 TEL 0545-30-8174
営業時間 10:00~16:00
日・祝日定休(不定休あり) 駐車場あり

SUBAKOUBOU 検索

年末年始のおうち時間を彩ります



オリジナルデザインのお正月飾りやアレンジメントで、晴れやかな新年を迎えましょう。一点一点丁寧手作りしており、ご予算に合わせたオーダーも可能です。プリザーブドフラワーは枯れないため、事前に準備できるのも嬉しいポイント。ご自宅用にもギフトにも最適です。

プリザーブドフラワー&アーティフィシャルフラワーのお店
Little Bridge
Little Bridge(リトルブリッジ)
富士市伝法573-2 TEL 0545-67-2550
営業時間 9:30~18:30 駐車場あり
火曜・第4日曜定休(12/30~1/5休業)
富士市リトルブリッジ 検索

多様な立場から手を取り合って
美しいふるさと、田子浦を取り戻す

『田子浦ビーチクリーンプロジェクト』

百人一首や万葉集にも詠まれた風光明媚な土地、田子浦。だが現在その海岸で目に入るのは、漂着ゴミがあちこちに散乱する驚くべき光景だ。この場所を、かつての美しい姿にして子どもたちに残したいと立ち上がった人たちがいる。大手電機メーカーの技師として活躍したのち、退職後はその知識と経験を活かし、ゴミ問題に向き合う時田祐佐さん。書家として活動する傍ら、市民活動団体の代表を務め、異なる立場の人間同士が連携して地域の課題に取り組めるよう働きかける赤澤佳子さん（本紙Vol.135に登場）。SNSを最大限活用し、大きなうねりとなっている田子浦の清掃活動についてお二人に話を伺った。

赤澤さんの活動団体と、田子浦清掃活動の関わりについて教えてください。



『Fuji ことはじめ』代表
赤澤佳子さん

赤澤：

「富士市の市民活動団体『Fuji ことはじめ』の中で、福祉とまちづくりに特化した部門『SASAERU』を主宰しています。参加メンバーは肩書に関係なく、支え合えるまちづくりを、という趣旨に賛同する方々。『SASAERU』のフェイスブック（FB）ページでは、ふだんからメンバー同士がさまざまな情報をシェアし、誰かが街の困りごとを投稿すれば、力になれる誰かが応えてくれる……そんな関係ができています。私が田子浦の現状を知り、昨年8月に富士市宮島の入道樋門付近の海岸で清掃イベントを企画した際も、下見の段階から多くのメンバーがゴミ拾いに協力してくれました。イベント後も時間の空いた人が個人的に清掃に行ったり、ゴミの多い地点を知らせ合ったり

して、今ではメンバーが新たに『田子浦ビーチクリーンプロジェクト』というFBグループを立ち上げてくれました。大規模なものとしては2回目となる今年10月のイベント、『環境フォーラム』（清掃活動＋講演会）には総勢50名が参加してくれて、280袋分のゴミが集まりました。ゴミ問題に限らず、このような地域の課題は地元町内だけで解決するのは難しい。地区外から人を集め、協力し合うことが不可欠です。私の役割は、課題に対し地元、行政、ボランティアといった横のつながりを作ること。多くの人の手で、未来の子どもたちによりよい環境を残していきたいと思います。」

時田さんは先日オープンした富士市新環境クリーンセンターでの工場棟案内を手伝ったり、ゴミ問題に広く取り組んでいらっしゃいますね。



『田子浦地区まちづくり協議会』
環境部部長・時田祐佐さん

時田：

「会社員時代に家電製品のリサイクル法制に関わるなど、長らくゴミ問題に関心を寄せてきました。定年後は『NPO法人富士市のごみを考える会』の設立メンバーとしても、ゴミ問題の啓蒙活動をしています。主たる取り組みのひとつが、イベントでのリユース食器利用の推進。“ゴミを減らすこと（＝リデュース）”の重要性に着目し、地元企業の食堂や学校給食から使わなくなった食器の提供を受け、各種イベント会場での使い捨て食器の削減に取り組んでいます。また、家庭から出る“燃やすゴミ”の約半分を占めるのが生ゴミですが、水切りして減量化したり、堆肥にして資源化したりといったことも促進していきたいと考えています。」

田子浦での清掃活動が広まった背景と、現在の活動の様子を教えてください。

時田：

「赤澤さんとは昨年の入道樋門でのイベントで知り合いました。大勢が集まって清掃すると聞き、地元『田子浦地区まちづくり協議会』として協力を申し出たんです。当日の清掃はもちろん、事前に参加者の駐車スペースを確保したり、ゴミの溜まった海岸線へ出やすいよう雑草やイバラを伐採。その後、FB上にできた清掃活動グループには現在約50名が参加して、外部から多くの協力が得られるようになっています。コロナ禍で、地元でも例年どおり集まっての清掃がやりづらい今、とてもありがたいですね。地元としては行政と連携して、ゴミ袋が簡単に入手できるようにしたり、拾ったゴミを一時保管する場所の確保や迅速な収集などの面で支援していただいています。大事なことは『拾う』～『運ぶ』～『処分する』まで一連の工程がスムーズであること。たとえばFB上で“この日、拾うだけならできます”という人がいたら“じゃあ運ぶのは私が”などと、無理なくサポートしあえる仕組みができています。現在、世界的に海外から流れ着く海洋プラスチックゴミの問題が注目されていますが、田子浦にあるのはおそらく市内の河川から運ばれてきたであろう、日本製の包装容器などがほとんど。大半は自分たちが出した『地元のゴミ』なんです。一見、ゴミがないと思われる場所もじつは“捨てる人がいない”のではなく“拾っている人がいる”ということ。こんな風に誰かが拾っている姿を見たら、ポイ捨ては減っていくはず。我々の活動によって少しずつ人々の意識が変わっていけばいいと期待しています。」

（ライター／小林千絵）

最新の活動予定はこちら

Facebook 公開グループ
田子浦ビーチクリーンプロジェクト



台風や高波が来るたびに、大量のゴミが新たに海岸に打ち上げられる。さまざまな種類のゴミが混在しており、缶やペットボトルでも、汚れたり劣化したものはリサイクルできない。



「子どもにも見せたい」と親子で参加する人も多い。



集まったゴミを運ぶ。「拾う」「運ぶ」「処理する」など各工程の連携が重要。



10月31日『環境フォーラム』のゴミ拾い

誰もがいつか来た、
ここにしかない薬屋さん

モノものがたり ④ かみや一潤天堂 神谷姫邸子さんと漢方談話

『かみや一潤天堂』は、漢方薬を取り扱う祖父の代から続く薬屋さん。店内には、近年のドラッグストアでは取り扱いがない漢方薬などの商品が並ぶ。

商品の並ぶ棚には、色画用紙を使った手描きのPOPが貼られている。店主の神谷姫邸子さんが描くイラストは味があって可愛い。壁に貼られた身体の図解のポスターは、先代から使われているようで年季が入っていて、理科室にありそうなリアルな人体模型は、臓器のパーツが取り外し出来る仕掛けだ。きっとこれらを使って、お客さんと話をするのだろう。

漢方では、症状を治すことだけを目指すのではなく、病気になった人に主体を置いて治療をする。病気になってしまった原因は、生活習慣か、遺伝的なことなのか、お客さんの話の中で探していく。けれど、薬を飲むだけで治るわけではなく、自分自身が治していくという意識が大切だと神谷さんは話す。

「お客様に合った改善方法をお話しすることはできますが、実際に生活習慣を変えることを自分自身でし

ないと健康を維持するのは難しいです。食生活を変えるだけでも体調は変わるので、お客様に気づきを持っていただくようにお話しすることを心がけています。」

現代では、ドラッグストアで自分の判断で薬を買うことができるが、昔はこの店のように自分の身体のことを話して、薬を買っていたのだろう。もしかしたら、身体のことだけでなく、家族のことや自身の悩みなども話すような場所だったのかもしれない。

「世間話を4時間くらい話していく方もいます。井戸端会議をすることもなくなってきているし、話せるだけ話してくださいねと思います。ストレス発散になって、体調が良くなればいいですね。」

神谷さん自身が漢方薬をどのように活用されているか伺った。たとえば先日、急に腰が痛くなってしまった時、体調の変化が起こる少し前の日々のことを振り返った。胃の働きが悪かったことや水の巡りが良くなかったことを分析し、それに合わせて漢方薬を飲み、血の巡りを良くするために身体を温めたのだそう。

腰の痛みと胃は関係あるの!?と漢方に無知の私は驚いた。こうしてお話を伺っていると、これまで自分の身体に無頓着だったかもしれないと気づく。血や水の巡りが滞ることが体調不良につながることや、薬の成分が身体のどこに作用されて症状が良くなるのかということ、これまで考えもしなかった。

神谷さんは、お客さんに漢方を正確に伝えるために勉強会に参加し、昔の書物を読んで知識を得てきた。自身の経験やお客さんの話も参考にしているため、さまざまな角度から分析されて、とても頼もしい。薬のことだけでなく、神谷さんに会いたくて訪れる人もたくさんいるだろう。

「いつも笑っていて、あの人に会うと元気になれるよねって言われる人が健康的ですよ」と話す神谷さんこそが、そんな会うと元気になれる人だと思う。

(ライター/針ヶ谷あす香)



店主・神谷姫邸子さん



店内のPOPは神谷さんの手描き



人体模型や鍼灸経絡経穴図も会話の小道具のひとつ



かみや一潤天堂
富士市本町16-6-2F
TEL:0545-61-4000

twitter

つい撮ったー。

日常の中で見つけた瞬間、つい撮ってしまいたくなる、あんなモノやこんなモノ、ありますよね？
ひとりでニヤリと楽しむだけじゃもったいない！紙面上で共有しちゃいましょう♪



ユーザー: もへじさん

いつも使っている洗面所の蛇口ですが、「へへへ」と笑っているようで、見るたびに微笑んでしまいます。

わかります！顔に見えてしまうものって、いつ見ても和みますよね。(編集部)



ユーザー: ハラシノさん

品種はわかりませんが(下仁田ネギ?)「いいねぎ」を信じて買ってきました!お鍋で食べたらとても甘くて美味しかったです!

見るからに美味しそう!お得感も半端ないですね。これは買ってしまいます。(編集部)



ユーザー: 紅葉さん

お店のオススメ「樹海パフェ」。マグマと樹海をイメージしたそうです。イラストのローズマリーがすごくリアルで(笑)。実物はもっと爽やかです。

力強いチョコレートでびっくりですね。スタッフさんの熱意が伝わってきます!(編集部)

あなたの1枚募集中!

採用された方に粗品を進呈☆

「奇跡の瞬間」「クスツと笑えるモノ」「癒される表情」etc...あなたが身の回りで発見したネタを写真に撮って編集部まで!お住まい(町名)・お名前(ニックネーム可)・写真の説明文(40~60文字程)を添えてメールでお送りください。お送り先は紙面最終ページをご覧ください。

粗品発送先確認のため、投稿が採用された方には編集部よりご連絡いたします。メール受信設定などによりメールが届かない可能性がありますので、掲載日の発行日より2週間以上経過した場合は、お手数ですが編集部までご連絡ください。



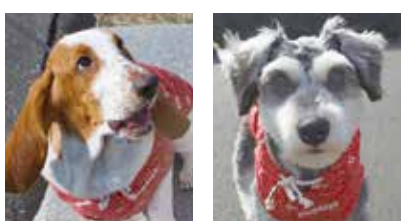
富士市西柏原新田
犬種：パセツト・ハウンド
寿七 (じゅな) ちゃん (メス:1歳半)
犬種：マルシュナ
(マルチーズ×ミニチュア・シュナウザー)
夢希 (なぞ) ちゃん (メス:1歳)



走るとまるでダンボのような、大きな耳の「寿七」(左) ちゃんと、真似っ子の「夢希」(右) ちゃん。

とてもかわいい姉妹ですね!どんな子たちですか?

「寿七」に上目遣いで見られると、メロメロになってしまうくらいかわいいです。ご飯の時には帽子を被って耳が邪魔にならないようにします。妹として迎え入れた「夢希」は天真爛漫だけど内弁慶でやきもちやきです。なんでも「寿七」の真似ばかりするのが気がかりです……。(*勝亦先生「よくあることなので大丈夫!」)



Radio-fでおなじみ “アニマル Dr.ジャック” こと 勝亦先生の ワン ポイントアドバイス

Q. 前触れもなく飼い主に噛みつくことがあります。対処法を教えてください。
A. 神経伝達物質のセロトニン不足から起こるともいわれている「レイジ・シンドローム」の可能性もありますが、詳しいことはまだわかっていません。発生する回数が少なければ日々の生活の中の「臭い・音・温度変化」などに気をつけてみてください。食物アレルギーなどがなければ、乳製品や大豆製品、卵、ビタミンB6など、セロトニンを増やす可能性のある食品を使っても良いと思います。症状が強くなり始める場合には動物病院への受診をおすすめします。

読者プレゼント

応募方法

A かりん糖の和田屋 和チョコかりん糖セット



冬季限定・バレンタインにも最適な大人気商品
チョコ・抹茶 2種セット 5名様

【かりん糖の和田屋】 富士市吉原2-10-16 ラクロス吉原1F

B パティスリー ラ・モナミ シューラスク



サクサク食感が人気のお菓子
1袋 5名様

【パティスリー ラ・モナミ】 富士市久沢437-17

下記の内容をご記入の上、ハガキまたはメールにてご応募ください。(宛先はページ下参照)

- ① 希望賞品名 ② 氏名 ③ 年齢 ④ 〒住所 ⑤ 電話番号
- ⑥ 「Face to Face」の入手先 ⑦ 「Face to Face」へ一言 (今月号の感想、面白かった記事、紙面全般へのご意見・ご要望、今後取材してほしい人など)



締切 12月24日(木) 必着

いただいた感想等は、公式ウェブサイトにて匿名で紹介させていただく場合があります。

当選者の発表は引換券の発送をもって代えさせていただきます。引換券から各賞品への交換は店頭にてご当選者様ご自身で行なっていただきますので、ご了承ください。



お茶関係の方を当紙でも何人かご紹介してきました。富士市の象徴的な産業のひとつであるがゆえ、市民としても身近なトピックです。富士山と同じくお茶というも「そこにあって当たり前」と富士の人は考えがちですが、当たり前にあるものは「いくらでも替えが利くもの」として商品価値がどんどん下がっていきます。経済学ではこれを「コモディティ化」と呼びますが、つまりは「ブランド化」の逆です。お茶の商品価値を高めることは地元経済にとっても大事な課題で、山田さんもそんな努力をしている一人です。自ら広告塔を務める氏の存在は以前から知っていましたが、今回直接お会いし、その表向きのキャラとはまた違うビジネスマン

としての堅実さ、商売人としての鋭いセンスが新鮮でした。単に「目立つ宣伝」ではない、喫茶体験そのものの価値を高めるマーケティング的視点が光ります。表紙撮影後、山田製茶の茶畑のうち「もっとも美しい場所」に連れていってもらいました。街と駿河湾が一望できる、それはそれは素晴らしい眺めでした。「この景色を茶葉にだけ見せるのはもったいない。畑だけでなく、人が集まれる場所にして、富士の観光資源にしたい」とまでおっしゃっていました。お茶のブランド化どころか街全体の魅力向上を見据えているところに、やはり街の象徴産業を担っている人々ならではの意気込みと責任感を感じました。
Face to Face 編集長 星野 大輔

新聞屋さんの
ポスティング



『Face to Face』はポスティングで実験配布中!

1月のポスティングスケジュール 搬入 8(金)まで 配布 13(水)~

新聞配達 の スタッフ が 配ります	新聞を購読しない 若い世代にも 効果的に届きます	チラシ配布に関するお問い合わせは 星野新聞堂 広告&マーケティングチーム ☎ 0545-52-0376 【受付時間】 月~土曜 (祝日除く) 9:00~17:00
新聞オリコミと ポスティングの 併用も可能です	中心市街地 以外のエリアにも 届きます	

『Face to Face』
公式ウェブサイト
facetofacefuji.com

星野新聞堂
Face to Face 編集部
〒417-0049
静岡県富士市緑町1-28
☎ 0545-55-0033
(コンテックスチャアラー・コンテンツ・スタジオ)
facetoface@shinbundo.com

Face to Face 入手方法

- 星野新聞堂による新聞折込およびポスティング(一部地域を除く富士市)
- 富士市・富士宮市内の公共施設
- 広告掲載店その他店舗・民間施設
- 星野新聞堂本社窓口

『Face to Face』は、協賛広告の掲載店舗様ならびに、星野新聞堂から新聞を購読しているお客様に支えられて成り立っている媒体です。私たちの取り組みや紹介した人物の活動に共感していただける方は、ぜひ星野新聞堂からの新聞購読をご検討いただければ幸いです。
次号 (Vol.170) 発行日は 1/13 (水) です